

## グローバル MICE 戦略都市選定基準

グローバル MICE 戦略都市は、グローバルレベルで MICE 誘致・開催を行う能力や意欲を有する都市を育成するという事業の趣旨に沿って、下記に掲げる選定基準に基づき、グローバル MICE 戦略都市選定・評価委員会において審査を行い、選定する。

なお、下記の選定基準と参考事例は、グローバル MICE 戦略都市の選定基準であるのみならず、選定された都市が今後数年間をかけて強化・達成していくべき取組を含んだものであり、応募提案の時点で参考事例に掲げる取組全てを実施していることまでを求めるものではない。

また、本事業での MICE とは主に「国際会議（コンベンション）」を想定している。

### I 選定基準の基本的考え方

応募提案は、以下の 2 つの要素に分けて審査し、その総合得点で判断する。

#### ① 都市の有する基礎的な MICE 誘致力

MICE を誘致するに当たって必要不可欠または重要な要素のうち、アクセス、施設、誘致主体の集積等、MICE の誘致に当たっての都市の固有の要素に基づく誘致ポテンシャルを評価する。

#### ② 都市の MICE 誘致における取組

自治体やコンベンションビューロー、関係事業者等の MICE 誘致に関する取組全般や意欲を評価する。

### II 選定基準

#### II-1. 都市の有する基礎的な MICE 誘致力

##### (1) 国際会議誘致に当たっての受入環境

#### ① 都市及び MICE 施設へのアクセス

- ・ 近隣空港の海外との直行便数
- ・ 空港と都市/MICE 施設とのアクセス 等

#### ② MICE 施設（国際会議場、展示場等）

- ・ 都市内の主要な MICE 施設の規模  
（会議場収容人数、会議室数、展示場面積等）
- ・ 施設の機能性（会議場と展示場、宿泊施設等の一体性/近隣性等） 等

### ③宿泊施設

- ・ MICE 施設隣接/近隣の宿泊施設の客室数 等

### ④その他

## (2) 潜在的な会議誘致主体や参加者の集積度

- ・ 国際的な競争力のある大学・研究機関・学会や研究者等の域内集積  
(研究者・教員数、論文掲載数・被引用数等)
- ・ 同様の観点からの産業等の域内集積  
(域内 GRP、企業の本社立地数等) 等

## II-2. 都市の MICE 誘致・開催における取組

### (1) MICE 誘致・開催に関する現状の取組

① 重点取組分野の策定、競合都市との差別化などの戦略的なアプローチ  
激化する国際的な誘致競争に対応するため、顧客や競合都市を十分に意識し、取組成果を最大化させるため、重点分野の設定、競合都市との差別化を始めとした戦略的な計画等を検討していること。同時に、MICE を自らの都市戦略の達成ツールとして活用していること。

#### <参考事例><sup>1</sup>

- ・ 自都市の産業振興、科学技術振興、地域経済振興等のツールとして、自らの都市戦略の中に MICE を明確に組み込んでいるか。このため、市役所の関係部局間等で適切な連携を行っているか。  
(特定分野の産業振興など、都市戦略の中で MICE を活用する視点や取組)
- ・ MICE の戦略的目標に合致する適切な目標を設定しているか。
- ・ 都市戦略との一体化や誘致成果の最大化の観点から、誘致活動における重点対象分野を設定しているか。
- ・ 海外競合都市との差別化に向けた取組を強く意識し、各種の対応を実施しているか。

<sup>1</sup> 参考事例は、①～⑥の各項目について、具体的に想定される内容を例示しているものであり、すべての事例を提案に盛り込まなければならないものではない。

## ② 市場や競合先などの調査分析

国際会議誘致におけるマーケティング戦略を検討・構築し、適切な誘致活動を行うために必要な市場・顧客、競合先等の調査分析を行っていること。

### <参考事例>

- ・ ターゲットとする MICE 市場について徹底したセグメント分析を行っているか。
- ・ 国際会議やその主催者の各種情報を調査しているか。
- ・ 競合国や競合都市の重点誘致分野、誘致支援制度等の各種取組について把握しているか。
- ・ 収集した市場、国際会議や主催者、競合国・都市等に関する各種情報をデータベース等で適切に管理し、効果的な利用ができるようになっているか
- ・ SWOT 分析等を通じて、自都市の強み弱みを適切に分析しているか。

## ③ MICE 開催地としての各種受入環境の整備

MICE 開催地として顧客に提供できる立地条件（アクセス）、関連施設、会議運営に関するサービス、その他顧客に提供可能な様々なハード・ソフトの総体（＝MICE 開催地としてのプロダクト）を、高品質化、差別化等の観点から可能な限り国際競争力を高めるよう適切な取組を行っていること。

### <参考事例>

- ・ 空港、会議施設、宿泊施設等間のアクセスについて、利便性向上の観点から必要に応じて改善等の取組を行っているか。  
（例：空港と会議施設のシャトルバスの運行、MICE 参加者用の IC パスの用意等）
- ・ 国際会議場・展示場等の MICE 施設の機能改善等に関する取組を適切に行っているか。  
（例：大規模改修、Wi-Fi 利用環境の整備等）
- ・ 宿泊施設の利用環境の整備を適切に行っているか。  
（例：利用者向けの MICE パッケージプランの提供、Wi-Fi 利用環境の整備、外国語による各種サービスの提供等）
- ・ MICE 施設や宿泊施設等の関連施設の整備について、必要な場合には自らのイニシアティブで整備方針や計画の策定・実施に取り組んでいるか。
- ・ 会議運営に関する支援体制を適切に構築しているか。  
（例：PCO との連携関係の構築、通訳やボランティア等の把握・組織化等）
- ・ 会議内容のクオリティ向上に関する適切な取組や支援を行っているか。  
（例：著名なスピーカーの招請（への支援）、近隣の企業・工場・研究機関等のテクニカルビジットツアーの造成・開催支援等）
- ・ 会議レセプション等で利用可能なユニークベニューを十分に整備しているか

(例：自治体で管理する文化財・公共施設がレセプション等で容易に利用できるような体制・制度の整備、利用者サイドの視点に立った関係条例等の規制や運営ルールの弾力的運用の徹底等)

- ・ アフターコンベンションの充実を図っているか。  
(例：会議・宿泊施設近隣の飲食施設の利用環境の整備(案内パンフ、利用施設側の外国語対応等)、近隣自治体と連携した観光メニューの会議参加者への提供等)
- ・ 会議主催者・参加者(=顧客)のニーズに対応した様々なサービスを積極的かつ柔軟に提供しているか。  
(例：主催者の会議スポンサー確保への積極的な協力、会議参加者拡大に向けた適切な支援等)
- ・ 受入環境整備に向けた各種取組の実施のため、域内関係者(自治体、コンベンションビューロー、関係事業者等)が適切な連携を行っているか。

#### ④ プロモーション

顧客にとって魅力的なMICE開催地としての認知度向上やブランド形成等に向けて、対象ターゲット等を念頭に十分な戦略性を持ったプロモーション活動を適切に行っていること。

##### <参考事例>

- ・ ターゲットとする分野や顧客を踏まえた効果的なプロモーション手法・戦略の検討・分析を行っているか。
- ・ MICE国際見本市等への出展等によるプロモーション・商談実施の機会を適切に設けているか。
- ・ 専門誌等への広告、プレスへの広報活動等を積極的に行っているか。
- ・ WEBによる情報発信を積極的かつ効果的に行っているか。  
(例：クオリティの高い英語HPの整備、ソーシャルネットワークサービスを活用した英語での情報発信等)
- ・ MICE顧客をターゲットとしたブランディング活動を行っているか。

#### ⑤ 誘致・開催支援活動

誘致候補案件の掘り起こしから立候補、ロビーイング等の誘致活動、開催支援に至る一連の活動において、国内外の関係者との適切な協力関係の構築を行うと共に、積極的かつ効果的な誘致・開催関連活動や支援活動を行っていること。

##### <参考事例>

- ・ 誘致候補案件の掘り起こしや効果的な誘致活動の実施に向け、国内側誘致関係者（企業・産業団体、大学・学会・研究所等）との連携体制や協力関係の積極的な構築を行っているか。
- ・ 誘致候補案件の掘り起こしのために、MICE 関連国際団体を始めとした海外情報チャンネルの積極的な活用を行っているか。
- ・ 地域内の MICE 受入関係者（自治体、コンベンションビューロー、MICE 施設、宿泊施設、観光産業関係者、大学、産業界等）による連携体制の構築を行っているか。さらには具体的な協力活動を行っているか。  
（例：MICE 誘致案件情報についての情報交換、誘致関連経費の共同負担等）
- ・ 主要な誘致対象案件において、主催者側キーパーソンへの視察招請等に適切な対応や支援を行っているか。
- ・ 主要な誘致対象案件において、ビッドプレゼンテーションの策定や実施等への適切な対応や支援を行っているか。
- ・ 主要な誘致対象案件において、主催者側キーパーソンへのロビーイング等について適切な支援を行っているか。
- ・ 国際会議誘致に関する支援制度（誘致支援金、開催支援金等）を有しているか。
- ・ 国際会議参加者に対する適切なホスピタリティプログラムを準備しているか。

#### ⑥ 国際的なネットワークの構築

海外の MICE 関連情報の積極的な収集、MICE 誘致活動に関する国際連携等の観点から、MICE 関連国際団体への参加、海外都市との個別連携等を通じた国際的な組織的・人的ネットワークの構築・充実を図っていること。

#### <参考事例>

- ・ 各種海外情報の積極的な収集等の観点から、MICE 関連の国際団体に加盟するとともにその活動に積極的に参加しているか。  
（例：ICCA 等への加盟、ICCA 会合や MICE 関連展示会等の各種 MICE 関連海外イベントへの参加等）
- ・ 上記の活動等を通じた自都市の国際的な認知度の向上、海外関係者との人的ネットワーク構築に向けた取組を積極的かつ持続的に行っているか。  
（例：日本の顔」、「都市の顔」を育成するために、主要な海外 MICE 会合・イベントには常に同じ職員を派遣する等）
- ・ 海外の主要都市やコンベンションビューローとの MICE アライアンスの構築など、海外関係組織との連携を行っているか。  
（例：MICE 分野の都市アライアンスへの加盟、海外 MICE 関連都市との連携関係の構築等）

### ⑦ その他

上記①～⑥に該当しない MICE 誘致に関する取組のうち、誘致成果向上の観点から特に重要と考える事項がある場合は、自由に記入すること。

### ⑧ 過去の実績

・ 過去 3 年間の国際会議開催・誘致の実績

(国際会議開催件数、外国人参加者数、主要な国際会議の誘致または開催実績例等について記載。)

### (2) MICE 誘致・開催の取組に関する今後の計画

上記(1) (MICE 誘致・開催に関する現状の取組) の①～⑦に該当する事項に関し、今後(3 年程度)の計画について記載すること。記載に当たっては、現行の取組に比して新規に取り組むこと、改善・強化することを中心に記入すること。

## Ⅱ-3. 誘致体制

### (1) 誘致に関する組織・体制及び予算の現状

MICE 誘致の支援主体である自治体やコンベンションビューローが、十分な誘致成果をあげるために必要な組織整備や人材手当がなされていること。また、同様の観点から資金面での十分な手当がなされていること。

#### <参考事例>

- ・ MICE 推進の強化を図るに当たって求められる自治体トップや幹部のコミットは十分に得られているか。
- ・ 自治体(市役所等)の MICE 担当部局と関連する他部局との連携体制が構築されており、必要な協力が適時適切に得られるようになっているか。
- ・ 自治体における MICE 担当部局の MICE 推進体制や担当人員 (MICE 専任の人員) は十分に手当てされているか。
- ・ コンベンションビューローの体制や人員は適切に手当てされているか。海外の主要競合都市との比較において適切な規模が確保されているか。  
(例: MICE 専任職員の人数、そのうちのプロパー職員の人数等。)
- ・ コンベンションビューロー職員の専門性確保等について十分な配慮がなされているか。  
(例: MICE 担当職員のうちプロパー職員の人数や MICE 分野の経験年数、外国人スタッフ

フ数、職員の外国語対応能力、専門性確保のための人材育成等の方策等)

- ・ MICE 誘致・開催支援に関する財政的な手当が自治体において十分になされているか。  
また、必要に応じて自治体予算以外の何らかの資金確保の枠組みの確保等が行われているか。

(例：自治体やコンベンションビューローが行う MICE 誘致・開催にかかる自治体の財政手当、域内関係事業者・関係団体等からの拠出制度の構築等)

## (2) 誘致に関する組織・体制及び予算の今後の強化

上記(1)の組織・体制及び予算面での取組について、今後(3年程度)の計画について記載すること。記載に当たっては、現行の取組に比して新規に取り組むこと、改善・強化することを中心に記入すること。

## Ⅱ-4. 全体構想

応募自治体が目指すグローバル MICE 戦略都市としての姿と、その実現に向けた道筋について、Ⅱ-2「都市の MICE 誘致・開催における取組」及びⅡ-3「誘致体制」で記述した事項を織り交ぜつつ、ストーリー性をもって概括すること。

## Ⅲ. 評価・選定方法の考え方

各項目を下記のとおり評価し、その総合得点が高い応募提案を選定する。

### Ⅲ-1. 「都市の有する基礎的な MICE 誘致力」の評価

各評価項目について 5 段階評価で採点する。

### Ⅲ-2. 「都市の MICE 誘致・開催における取組」、「誘致体制」、「全体構想」の評価

Ⅱ-2「都市の MICE 誘致・開催における取組」については①～⑧の項目毎に、Ⅱ-3「誘致体制」については(1)・(2)の項目毎に、Ⅱ-4「全体構想」についてはそれ単体で、下記の視点別に 5 段階評価で採点する。

#### ①各取組内容のグローバルスタンダードに対する達成度

- ・ 個々の誘致関連の取組をグローバルスタンダード（海外の有力都市の取組）と比した場合の相対的達成度を評価する。

#### ②実現可能性・持続性

- ・ 個々の取組を実現するための組織トップのコミット、人材配置や予算措置、関係者の協力体制の確保等により、今後の計画の国際会議の誘致達成の実現可能性について評価する。
- ・ 関係者の持続的な参加、取組の波及、組織の体制整備・人材育成等の方策が示され、誘致戦略の持続的なレビュー及び取組の評価・改善の仕組みが組み込まれるなどによる、取組の持続的な展開の確実性について評価する。

### ③独自性

- ・ 海外の競合都市に対する差別化等を念頭に、自都市の条件、特色を的確に踏まえつつ、独自のアイデアに基づく取組や計画となっているかを評価する。

#### (注)

○委員会はⅡ. 及びⅢ. に記した選定基準に基づき都市の選定を行うが、委員会が必要と認める場合には、上記以外の事項についても選定要素に含めることができる。

○委員会は応募都市から提出のあった資料・情報に加え、必要に応じて自らまたは事務局が調査・整理した情報等を選定の判断要素に加えることができる。

○なお、Ⅱ-1「都市の有する基礎的な MICE 誘致力」については、原則、事務局が資料・情報の収集・整理等を行い、必要に応じて応募者に情報提供等の協力を求めることとする。

○委員会は、必要に応じて、応募者から提出のあった資料・情報以外に追加の資料を求めることができる。